

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



巨石を積み上げた
飛鳥のシンボリックな古墳

日本最大級の横穴式石室ともつ古墳
石槨を安置した玄室の長さは約7.5m
幅約3m、高さ約4.8mあり、石材の総重
量は2300tにも及び、7世紀初めの築造
とみられ、当時の大権力者蘇我馬子の
墓ではといわれる。

万葉の里めぐり

新元号「令和」の其趣となった
「万葉集」は
奈良時代末期の成立といわれる
日本最古の歌集



〔現代語訳〕
来月の袖吹き返した頭日香の風は、
都が遠く戻らぬので今は必ず吹いている。

来月の袖吹きかへす明日香風
涼を遠みソトづら吹く

石舞台古墳

新元号「令和」の典故となった

「万葉集」は後20巻、約4500首
を収めた歌に詠まれた土地は東北
から九州に及ぶ。最も多くの
当時奈良の約90%の新約900首
さらに言うとその4分の1は飛鳥
からに飛鳥にまつる歌だ。

石舞台古墳がある
一帯の地名は鳥庄。
かつてのあたりには、
天武天皇の皇子
草壁皇子の宮殿
「嶋宮」があり、
「島の宮」上の池なる
放生鳥、荒れなげを
罵りまじすとも「
鳥歌」が破る。
皇子の死を悲しんだ
命か歌んだ歌の意味
は「嶋宮」上の池で放
し飼いにしる鳥よ、
皇子はいらっしゃるが、
心荒むはよ。」

巨大な石室の内部も見学可能。
最も大きな石は約77cm
あるという。

